

注意！ 英語の添付文書・簡易取扱説明書が同梱されている場合は、使用いたしませんので、廃棄してください。

# SARS-CoV-2 ラピッド抗原テスト(一般用)簡易取扱説明書

検体採取と取扱方法は以下の Web サイトでご紹介しています。  
https://dianews.roche.com/antigen\_at\_pharma.html  
QR コードからもアクセス可能です。



※ 本内容は添付文書の抜粋となりますので、詳細は添付文書等をご確認ください。

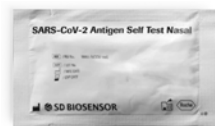
## 測定の手順

### 【準備するもの】

鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブ    テストデバイス



開封後



開封後

抽出用バッファータube



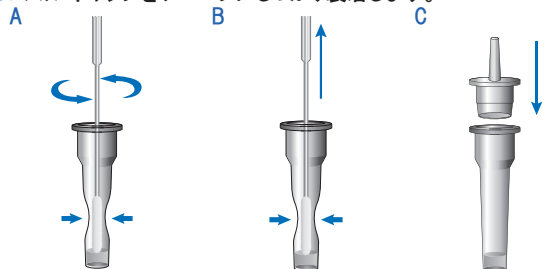
ノズルキャップ



※ 鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブの形状は異なる場合があります。  
その他に時計かタイマーを準備してください。

### 2 試料の調製

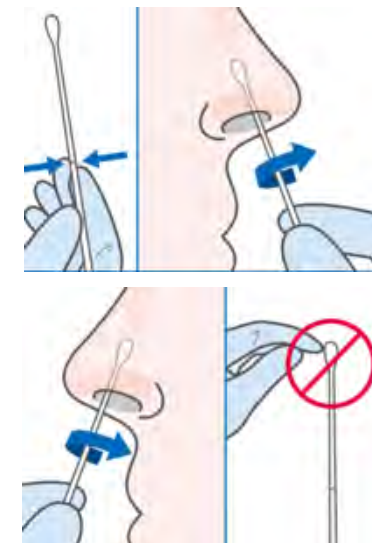
- 抽出用バッファータubeのシールを中身をこぼさないように注意深く開封し、検体採取後ただちに綿棒をチューブに浸します。チューブの外側から綿棒の先端をつまみ、綿棒を 10 回以上左右に回転させ、上下に動かし撹拌します。
- チューブの外側から綿棒の先端をつまみ、試料を絞り出すようにスワブを引き抜きます。
- ノズルキャップをチューブにしっかりと装着します。



最低 10 回もみほぐす

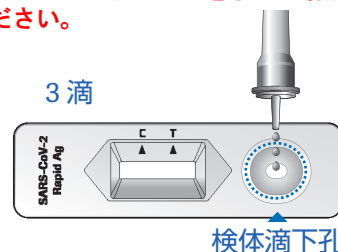
### 1 検体採取(鼻腔ぬぐい液)

キットに付属の鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブ(綿棒)を 1 本用意します。  
綿棒は使用直前に開封し、綿球部分には手を触れないでください。  
綿棒の真ん中より下の部分を持ち、鼻の穴から約 2cm のところまで綿棒を挿入します。この時無理に圧を加えないでください。  
無理に圧を加えると鼻粘膜が傷つき出血したり、綿棒が折れ、怪我をする場合があります。  
綿棒を鼻の内壁に沿わせて 4 回回転させ(約 15 秒間)、粘膜表皮を採取します。  
綿棒の先端がほかの部位に触れないように鼻の穴から注意深く引き出します。  
同じ綿棒を使用して反対の鼻の穴でも同様の操作を繰り返します。  
**注意:必ず 1 本の綿棒で両方の鼻の穴から採取してください。**  
綿棒が十分に湿っていることを確認します。  
ただし、綿棒の先端には触らないよう注意してください。



### 3 検体の滴下

テストデバイスを平らな場所に置き、チューブから試料 3 滴をテストデバイスの検体滴下孔に真上垂直から滴下します。  
時計またはタイマーを 15 分にセットします。  
試料滴下後は、テストデバイスを水平な場所に置き、動かさないでください。



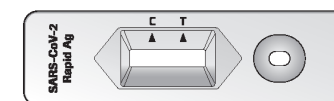
### 4 測定結果の判定

15 分後に測定結果を判定します。



測定時間 15 分

判定時間 15 ~ 30 分



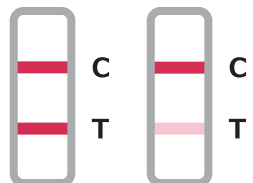
陰性の判定はコントロールラインが早めに出現した場合であっても、必ず 15 分後に行ってください。  
また、30 分以上経過した後の判定は正確な測定結果が得られない可能性があります。

## 結果の判定法 — 判定は必ず滴下後、15～30分の間に実施してください。



### 陽性

- 判定窓にコントロールライン (C) 及びテストライン (T) **2本のライン** が出現します。
- テストライン (T) が非常に薄いか均一でない場合でも、陽性と判定してください。



- 新型コロナウイルス抗原が検出されました。
- お住まいの地域の自治体の最新の情報等も確認し、適切に医療機関の受診等を行ってください。**



### 陰性

- 測定結果が陰性の場合、判定窓にコントロールライン (C) のみが出現します。

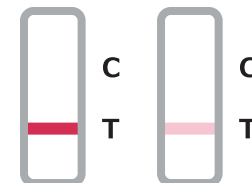


- 新型コロナウイルス抗原は検出されませんでした。
- 偽陰性（過って陰性と判定されること）の可能性も考慮し、症状がある場合には陽性であった場合と同様に、適切に医療機関の受診等を行ってください。
- また、陰性であったとしても引き続き感染予防策を行ってください。



### 判定不能（再検査）

- 判定窓にコントロールライン (C) が認められない場合、検査結果は無効です。



- テストライン (T) が認められたとしても、コントロールライン (C) が認められないため、検査結果は無効です。
- 新しい検査キットを用いて、もう一度、検査を行ってください。

本キットや検体採取に使用した綿棒などは家庭ごみとして各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。使用後の綿棒等は感染性を有するおそれがありますので、廃棄時の取扱いには十分注意し、使用したキット（綿棒、チューブ等を含む）をごみ袋に入れて、しっかりしばって封をする、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。